

ともにあゆむ

令和6年7月12日(金)

新年度が始まり、4か月がたちました。児童生徒は学校生活にも慣れ、暑い中でも元気な声が毎日聞こえてきます。

日頃より、本校の進路支援に関してご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。今年度も進路支援部通信「ともにあゆむ」をとおして、進路に関する情報を発信していきます。

第1号の「ともにあゆむ」では、「進路に関わる1年間の予定」「進路の大まかな道筋について（高等部編）」「“生活する力”の大切さ」についてお伝えします。

進路に関わる1年間の予定

月	内容
7月	【高等部2年】進路説明会① <5日> 同窓生のつどい <26日>
9月	【中学部3年】進路説明会 <4日> 【高等部1・2年】現場実習 <5日~12日> 【中学部】仕事・生活体験実習<11日~13日>
10月	【高等部1年】進路説明会<18日>
11月	【高等部3年】卒業後利用の福祉サービス申請<1日~> 【小学部高ブロック】進路説明会<参観日と同日>
12月	【中学部3年】願書説明会 <19、20日>
1月	高等養護学校、高等部入学者選考検査 <31日>
2月	【中学部1・2年】進路説明会②<3日> 【高等部2年】進路説明会② <7日>
その他	高等養護学校での学校見学会、オープンスクール、教育相談 <6月以降随時行われます>

※今年度から「中学部職場実習」が「仕事・生活体験実習」と名称が変わりました。

(文責：高等部 上田)

進路の大まかな道筋について(高等部編)

今回は、知的障がい特別支援学校高等部への進学についてお知らせします。中学部卒業後の学校選択にあたっては、学校の特色（教育課程）の違いについて理解することや本人の将来像のイメージをもつこと、本人が『この学校に通いたい』という希望をもつことが大切です。各学校のホームページや道立特別支援学校高等部のしおり、学校見学会や体験会等の機会を活用し、検討してください。

道立知的障がい特別支援学校高等部の設置学科と教育課程

学校種	職業学科を設置している学校		普通科のみを設置している学校
	職業学科	普通科	普通科 (普通、重複障がい、訪問教育)
学科等			
学科の目標	○卒業後の職業自立(就職)に必要な専門的な知識や技能を習得	○卒業後の自立(職業自立、社会自立)や家庭生活に必要な知識や技能を習得	
教育課程編成の特色	○専門教科を中心とした教育課程 (専門教科は875単位時間以上を設定) ○学科の目標に応じた教育 ・教科等別の指導を中心とした教育 ・各教科等を合わせた指導を中心とした教育	○知的障がいの各教科等を中心とした教育課程 ○教科等別の指導を中心とした教育	○設置学級の目標に応じた教育 ・各教科等を合わせた指導を中心とした教育 ・教科等別の指導を中心とした教育 ・自立活動を中心とした教育
	○生徒の実態及び進路希望等に応じた各学校の工夫 ・類型やコース制(目的や学び方別の累計・コース選択 等) ・選択履修することのできる各教科の設定		
主な進路先	○企業等への就職 ○就労移行支援事業所の利用 ○就労継続支援A型事業所への就職 等	○将来の就職に向けた進学 ○企業等への就職 ○就労移行支援事業所の利用 等	○障がい福祉サービスの利用 ○就労継続支援A型事業所への就職 ○就労移行支援事業所の利用 等

職業学科

十勝では、中札内高等養護学校、中札内高等養護学校幕別分校、新得高等支援学校です。専門教科（家政、農業、工業、流通・サービス、福祉）を中心とした教育課程を編成・実施し、企業等に就職することを目指しています。

職業学科に設置している普通科

十勝では、令和2年に中札内高等養護学校に設置されました。

国語や数学、社会、理科、情報、外国語などの教科の学習を行いながら、就業体験、ボランティア活動などの経験もとおして幅広い知識や技能を身に付け、職業自立・社会自立を目指しています。

普通科のみを設置している学校

十勝では、帯広養護学校高等部です。普通学級、重複学級、訪問教育学級を設置しています。将来の家庭生活を想定し、例えば、身の回りの着替えや食事、排泄など基本的な生活習慣に関わる内容を一人で行えるようにしたり、他者の支援を受け入れたりする学習や、実際の生活場面と結び付けて国語や数学などの内容を学ぶ生活単元学習などを中心に学習します。

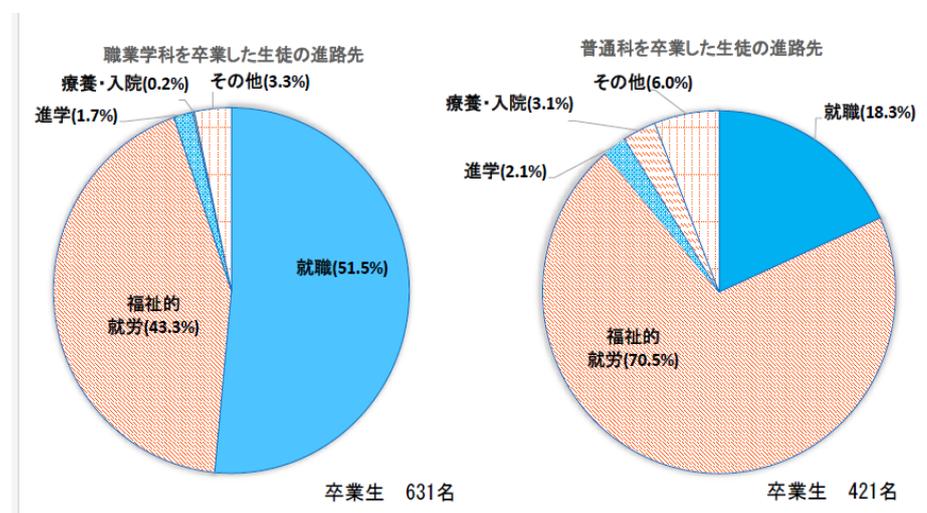
高等部卒業後の進路について

令和4年度の知的障がい特別支援学校高等部卒業生の進路の状況です。

職業学科を設置している学校の卒業生の就労状況は、就労継続支援A型事業所を含めて約50%の生徒が企業等へ就職しています。

普通科のみを設置している学校の進路先は、福祉的就労が7割を超えており、主に、事業所で「創作活動」や「生産活動」に取り組む生活介護事業所、「生産活動などの機会をとおして就労に必要な訓練を行う」B型事業所、「就職するために必要なスキルを身に付けるための訓練を行う」就労移行支援事業所等となっています。

学校選択に当たっては、高等部卒業後の進路などをイメージされておくことも重要です。



参考・引用文献：令和5年度特別支援教育進路指導協議会 高等部の教育及び入学者選考について

(文責：中学部 小田原)

お知らせ

福祉サービス事業所・同窓会に関する情報は集会室又は高等部職員室前の「進路支援部掲示板」に掲示していますので、ご覧ください。

また、障害福祉サービスに関する情報は本校「ホームページ」をご覧ください。

“生活する力”の大切さ

障害の有無に関わらず、働き続けるには5つの資質が必要とされています。これらを階層別に整理したのが「職業適性ピラミッド」と呼ばれるものです。(図1)

卒業後の進路を意識するときに、ピラミッドの上の方にある、「働く力」に視点がいきがちです。確かに就労=働くと考えれば大切な力です。しかし、ピラミッドは土台の部分が強固でなければ、ピラミッド全体が崩れてしまいます(図2)。つまり、土台となる「健康管理」「日常生活管理」が大変重要であるということになります。「働く力」があったとしても、「生活する力」がなければ継続した就労にはつながらないことが分かります。

毎日、休まずに働くためには「丈夫な体」が必要となり、「丈夫な体」を維持するためには体調管理や規則正しい生活、大きな偏食がなく食事をとることが必要となります。また、心の安定を図るためには、充実した余暇を過ごす力も必要となるでしょう。基本的な生活リズムを確立し「生活する力」をつけることが、継続して働く上でとても大切になってきます。

是非、ご家庭におきましては小学部の段階から、学校と連携して、ピラミッドの土台となる「健康管理」「日常生活管理」を意識した生活を送るようにご協力をお願いいたします。

(文責：高等部進路 Co.村上豪)

図1

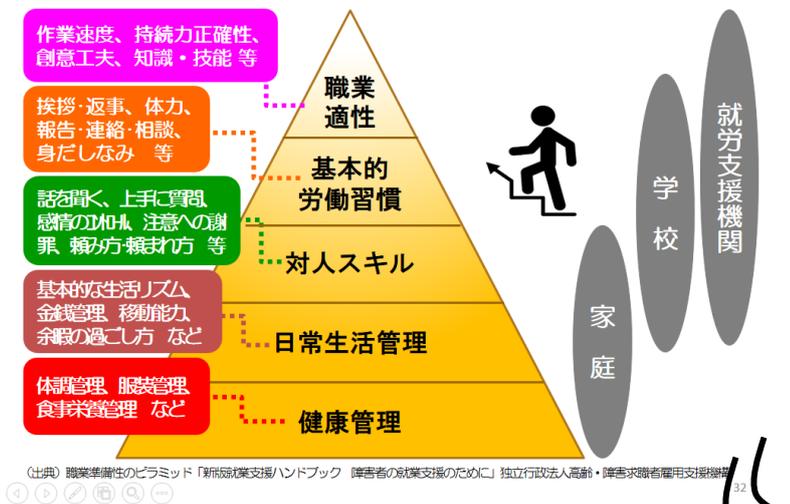


図2

